

第32回北とぴあ若手落語家競演会 大賞受賞！

入船亭小辰さんインタビュー

2021年9月5日（日）北とぴあつつじホールにて、「第32回北とぴあ若手落語家競演会」が開催されました。近年まれにみる激戦を制し、入船亭小辰さんが北とぴあ大賞に選ばれました。

まずは、北とぴあ大賞を受賞された率直な感想をお聞かせください。

率直な感想ね、嬉しいのと驚いているのとほっとしているのと、ないまぜになっていますね。

競演会前、あるいは途中で出演者の皆様6名が勢ぞろいされた楽屋はどのような雰囲気だったのでしょうか。

楽屋は和気あいあいとしていましたね！普通に前座修行をした仲間ですから、そうするともう、もうただただ、くだけてしゃべってましたね。結構「なにやる？」みたいな話もしてましたね。

普通だいたいそういう時って、みんななにやるかどうかというところはあまり触れないようにするんですけど、なんか普通にしゃべってましたね。

ではその中で、なぜ今回の演目（代り目）をお選びになったのですか。

そうですね、去年のNHK新人演芸大賞に出させていただき、本選を 통과させていただいたときにやったのが「代り目」なんですけど、もうそれがだめだったんですよ。落ち込んで。それで、このネタをなんか自分の中でかたちにして成仏させないと思って、今日やりました。

大賞受賞を一番に報告したい方、またどのように報告したいですか。

師匠とおかみさんですね、まずは。師匠とおかみさんがいなければ私はいないので、ええ。どういうふうに伝えるか、まあ明日朝一に師匠んちに全部持って行って見せびらかす、感じですかね。

副賞（10万円）の使い道は？

副賞の使い道はね、家賃！！家賃です（笑）

最後に、今後どのような落語家を目指されていきますか。

そうですね、師匠のようなというのが一番近いんですけども、やっぱり寄席に出て、初めて来た人が寄席で落語を聴いて初めからおしまいトリまで盛り上がり行って、トリでどーんときかせて帰る時に、「あー今日の寄席面白かったね」「あの人、面白かったね、名前は覚えてないんだけど、あの人面白かった！」って言われるのが目標です。



▲左からゲストの遊雀師匠、大賞の小辰さん、奨励賞の遊かりさん。



▲演目「代り目」は酔っぱらいとおかみさんの噺。酔っぱらってくだを巻く様子に観客も笑いを誘われていました。

第32回北とぴあ若手落語家競演会 2021年9月5日（日）14時開演

【出演】林家はな平、入船亭小辰、三遊亭遊かり、瀧川鯉津、昔昔亭喜太郎、春風亭一花（口演順）

【ゲスト】三遊亭遊雀 【司会】サンキュータツオ（米粒写経）